

## 介護ウェーブ 2024 推進ニュース

2月29日 介護請願署名22万9689筆を提出  
訪問介護の基本報酬引き下げに対する怒り広がる

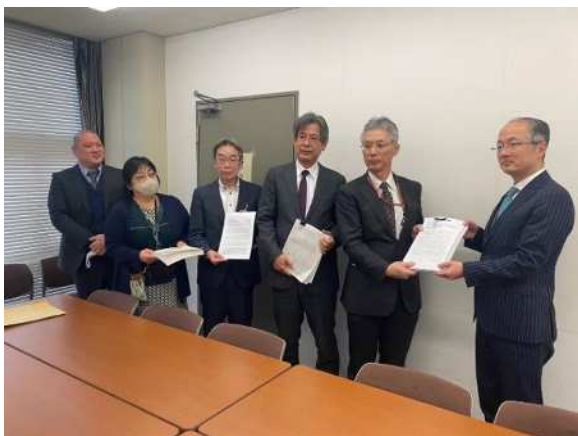
2月29日第2次提出行動が行われました。提出行動に向けて各団体から多くの署名が集まり総数229,689筆(全日本民医連:115,139筆)の署名を提出することが出来ました。

国会内集会では、請願署名に賛同いただいた国会議員の中で10名(書面でのメッセージ3名含む)の議員の方が挨拶に来られ、「高齢者の命を守っているのが訪問介護である」(立憲民主党・野間健議員)、「制度や運用の改善に当事者の声が欠かさない」(れいわ新選組・天島大輔議員)、「予算委員会の中で追及し、国民の暮らしを支えることを最優先した政治実現に力を尽くしていく」(日本共産党・宮本徹議員)など力強いスピーチがありました。

挨拶を挟んで、全日本民医連林事務局次長より、報酬改定をふくめた介護をめぐる最近の情勢についてミニ学習講演が行われ、その後、介護7団体を代表して、NPO法人暮らしネット・えんの小島美里さんから連帯のメッセージが寄せられました。最後の閉会挨拶で、東京社保協・窪田事務局長より「介護制度を抜本的に改善させるチャンス、私たちの声を大きく広げていこう」と訴えがありました。

☆「訪問介護の基本報酬  
引き下げ撤回を」—厚労省に要請

同日(29日)の午後、中央社保協として、厚労省の斎須朋之審議官(老健・障害保健福祉担当)に介護報酬再改定と大幅な処遇改善、介護保険制度の抜本改善を求める要望書を提出しました。参加者から訪問介護の基本報酬引き下げの撤回を強く訴えました。



## ☆日本共産党議員団との懇談

同日(29日)の午後、日本共産党議員のみなさんと介護現場の実情について懇談しました。仁比聡平議員、本村伸子議員、倉林明子議員が出席され。人手不足の実態や外国人介護職の就労、有償紹介会社の現状について意見交換が行われました。全日本民医連(介護福祉部)からは、門協理事、石田・長島・伴・矢島各部員、林事務局次長が参加しました。



## ★各地の取り組み

### ■ 神奈川県医連・訪問介護サービスの基本報酬引き上げを求めて、議員に要請

2月22日に発表された介護報酬改定の単価で唯一下がったのが訪問介護サービスでした。もともと、訪問介護はヘルパーの高齢化と人手不足が深刻で、物価高騰の影響も受けて、事業所の経営は厳しい状態が続いています。そんななか、今回の介護報酬引き下げ、撤退を余儀なくされる事業所が出ては不思議ではありません。一番困るのは、要介護者や介護家族です。地域から使いたいサービスが消えたらどうなります？政府は、想像力を働かせて欲しいです。懇談に応じた日本共産党の倉林明子議員は、「政府は、ヘルパー事業所を潰す気か」「こんなことは許されない、一緒に報酬引き上げを求めて頑張りましょう」「もっと現場の声を届けて欲しい」と私たちにエールをくれました。また、社民党の福島みずほ議員とも会うことができ、ご自身がご家族を介護した苦労話も踏まえて「ヘルパーさんにどれだけ助けられたか、こんな改定許せない。ともに頑張りましょう」と激励してくれました。



## 「崖っぷちから突き落とされる介護保険 これではもたない在宅も施設も！」3・8オンライン集会開催

3月8日（金）17:30より5団体（ケア社会をつくる会、WAN、WABAS、きょうされん、日本障害者協議会）が共催でオンライン集会が行われます。

○主旨説明：上野千鶴子/WAN（ウィメンズアクションネットワーク）理事長

○厚労省への質問

- ・小島美里（NPO法人暮らしネットえん）
- ・伊藤みどり（ヘルパー訴訟原告）
- ・関口江利子（世田谷区議会議員・社会福祉士）
- ・高口光子（元気が出る介護研究所）

○発言者：

- ・飯澤恵子（NPO法人アクト世田谷たすけあいワーカーズ ゆりの本事務局局長）
- ・佐藤昌子（ヘルパー訴訟原告）
- ・藤川真美（介護福祉士 ケアきょうからの紹介）
- ・日下部雅喜（大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長）
- ・高口光子（元気が出る介護研究所）
- ・増田一世（全国障害者連絡会）
- ・鎌田松代（認知症の人と家族の会）ほか

ぜひご参加（視聴）をお願いします。

YouTube 視聴は下記 URL からできます。

<https://youtube.com/live/mOphKAeWfPo?feature=share>

緊急開催!! オンライン集会  
「介護崩壊」へと突き進む介護保険制度を  
待った! の大きな声で押し戻そう!  
在宅は「施設介護報酬引き下げで、ヘルパーの確保と事故増大の危機!」  
崖っぷちから突き落とされる介護保険  
これではもたない在宅も施設も  
「待った!」まさかの訪問介護報酬引き下げ! ICT化で介護施設の職員減らし!  
議員の確保と事故増大の危機!  
施設は「一人介護標準化」で  
●日時 3月8日(金) 17:30~19:30  
●会場 参議院会館からオンライン中継  
●内容 主旨説明：上野千鶴子（ウィメンズアクションネットワーク理事長）  
抗議声明：袖井孝子（高齢社会をよくなる女性の会副理事長）  
【質問・発言者】  
厚労省への質問：小島美里、伊藤みどり、関口江利子  
介護現場からの発言：飯澤恵子、日下部雅喜、佐藤昌子、高口光子、  
増田一世ほか  
司会：中澤まゆみ  
●申込み オンライン参加者募集中! -参加の申し込みは Peatix から-  
<https://care-insurance7.peatix.com/>  
●問合せ ケア社会をつくる会  
E-mail: [caresociety2023@gmail.com](mailto:caresociety2023@gmail.com)  
WEB 配信担当：中央社会保障推進協議会  
主催：ケア社会をつくる会  
共催：ウィメンズアクションネットワーク(WAN) 高齢社会をよくなる女性の会(WABAS)、  
日本障害者協議会、きょうされん

お問い合わせ先 介護ウェーブ推進本部

TEL: 03-5842-6451

E-mail: [min-kaigo@min-iren.gr.jp](mailto:min-kaigo@min-iren.gr.jp)

全日本民医連事務局・栗原・瀧澤